

無表情で

何考えてるが

わからないメイド



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

無^む表^{ひょう}情^{じょう}で

何^{なに}考^{かん}え^がて^るか

わ^わか^から^らな^ない^いメ^メイ^イド^ド



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

月に一度
もらったお小遣いで
父親と一緒に菓子を買
いに行くのが
一番の贅沢



そんな
ありふれた、
でも幸せな人生

それが僕の
日常だった。

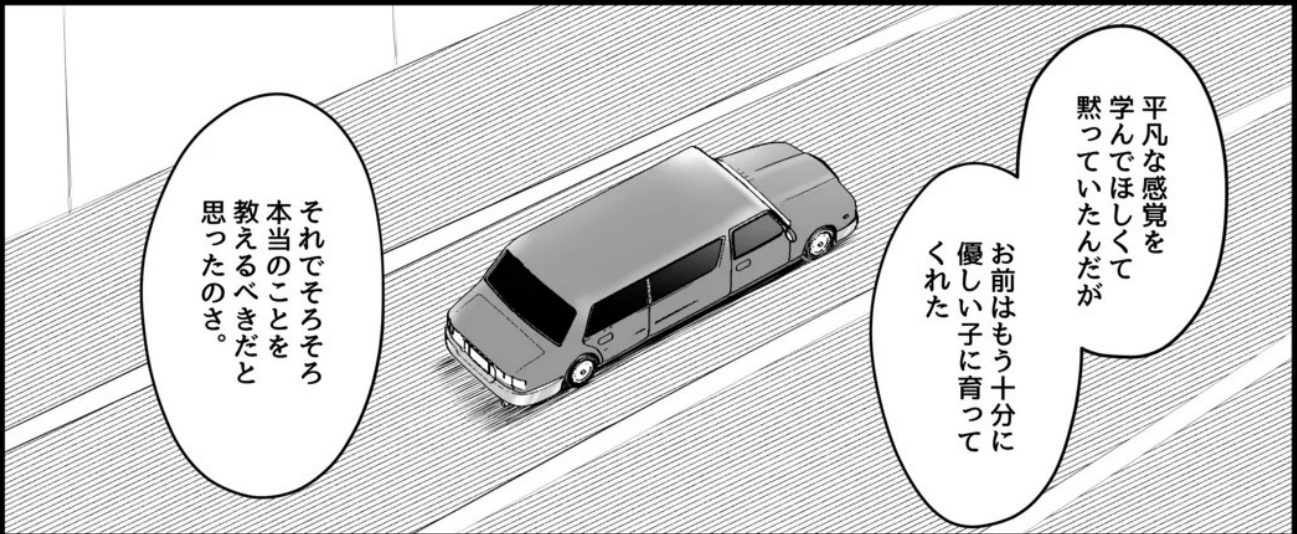


今日
までは





実は
大金持ち？



平凡な感覚を
学んでほしくて
黙っていたんだが

お前はもう十分に
優しい子に育って
くれた

それでそろそろ
本当のことを
教えるべきだと
思ったのさ。



後のことはそのメイドさん
……マキナに任せてある

なにかわからない
ことがあつたら
彼女に聞きなさい



でも……

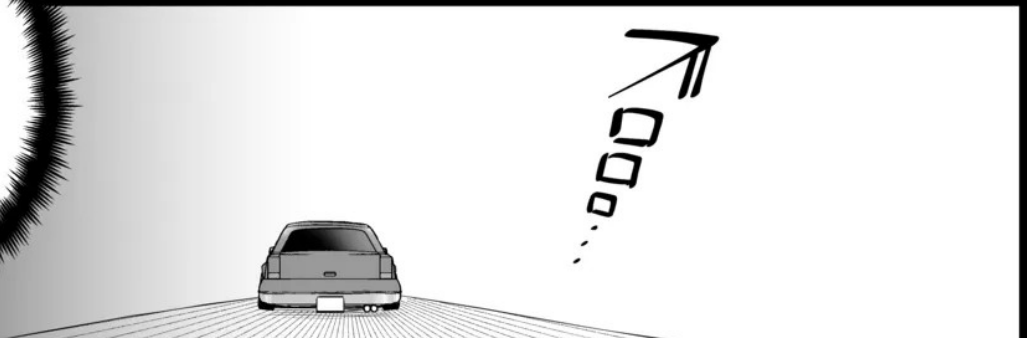
この人無口で無表情で
なに考えてるのか
わかんないよ……
めっちゃこころ
見てる

じい〜

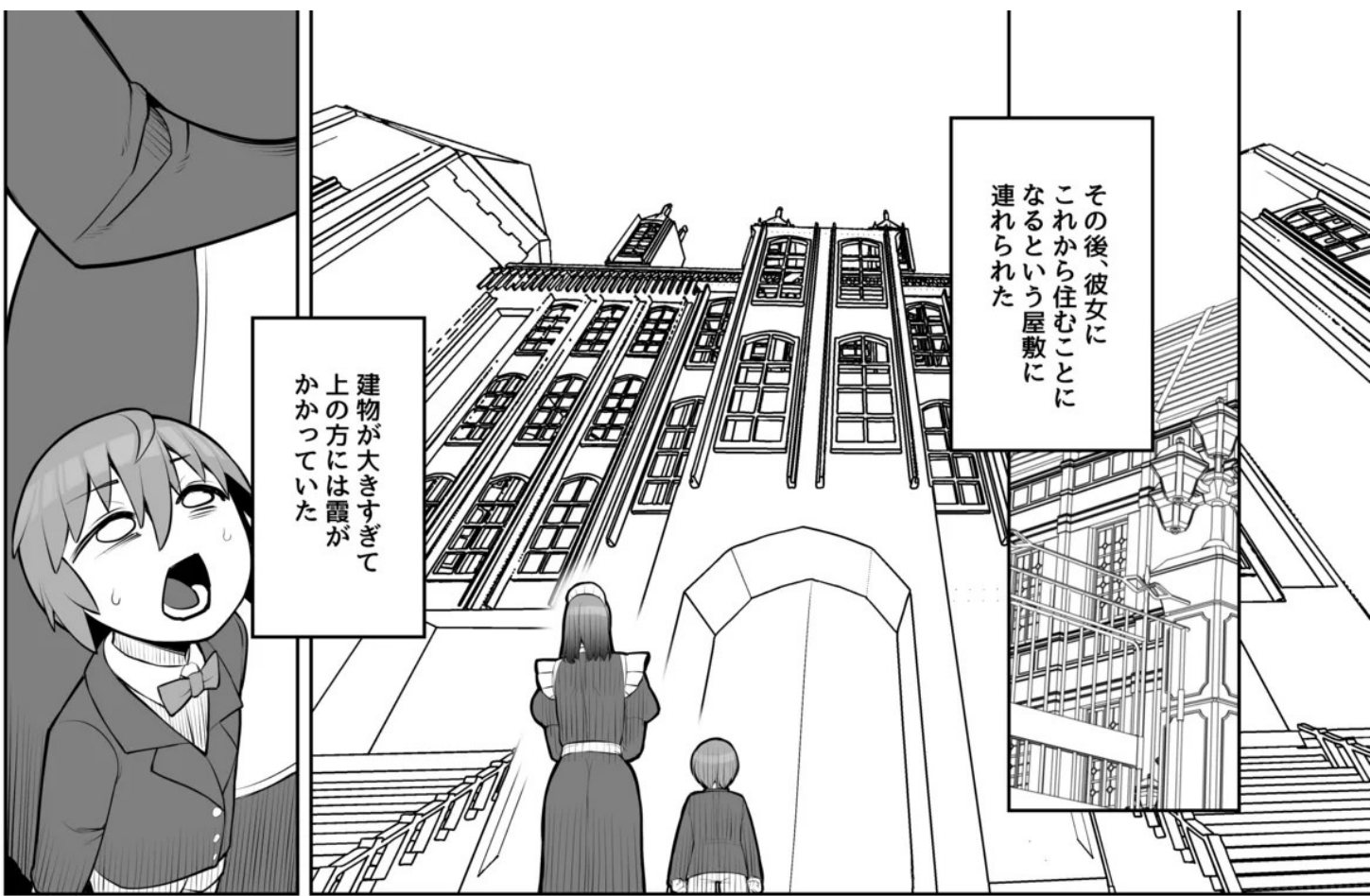
聞きたいことは
いっぱいあるけど



綺麗な
人だな……

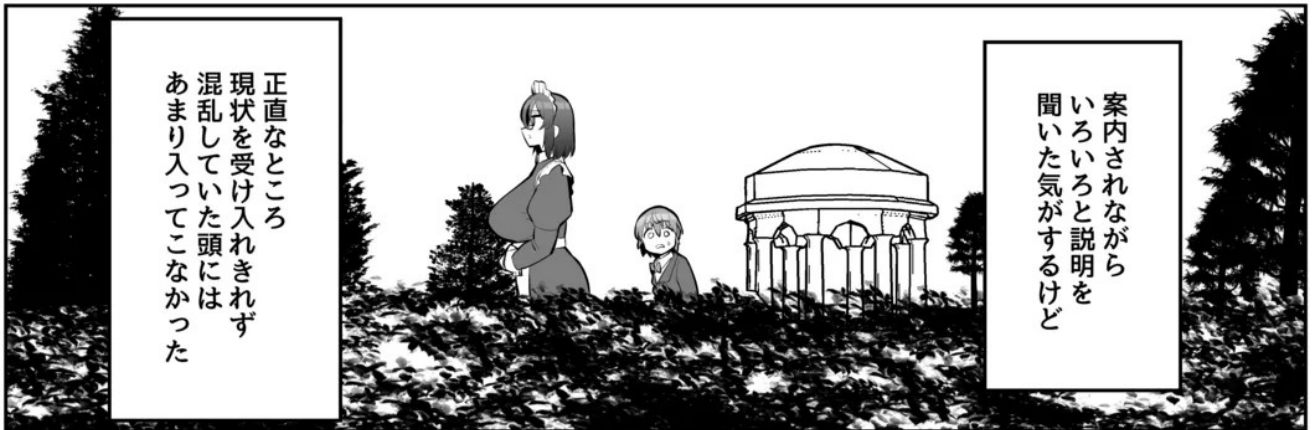


ゴォォォ……



その後、彼女に
これから住むことに
なるという屋敷に
連れられた

建物が大きすぎて
上の方には霞が
かかっていた



案内されながら
いろいろと説明を
聞いた気がするけど

正直なところ
現状を受け入れきれず
混乱していた頭には
あまり入ってこなかった



ただ
何故か

坊ちゃん

大丈夫
ですか？

坊ちゃん

聞きなれないはずの
その呼び方や
彼女の存在は

不思議なことに
自然と受け入れて
しまいそうに
なっていた

あ……



それなら
良かったです

ですが少し
お疲れの様子

本日は早めに
身体を清められるのが
よろしいかと



だ、大丈夫です！
ちよっとほーっと
しちやった
だけで……



うーん……
お風呂



お風呂は
広いけど

比較的
普通のサイズで
助かったな……



失礼いたします。



お背中を

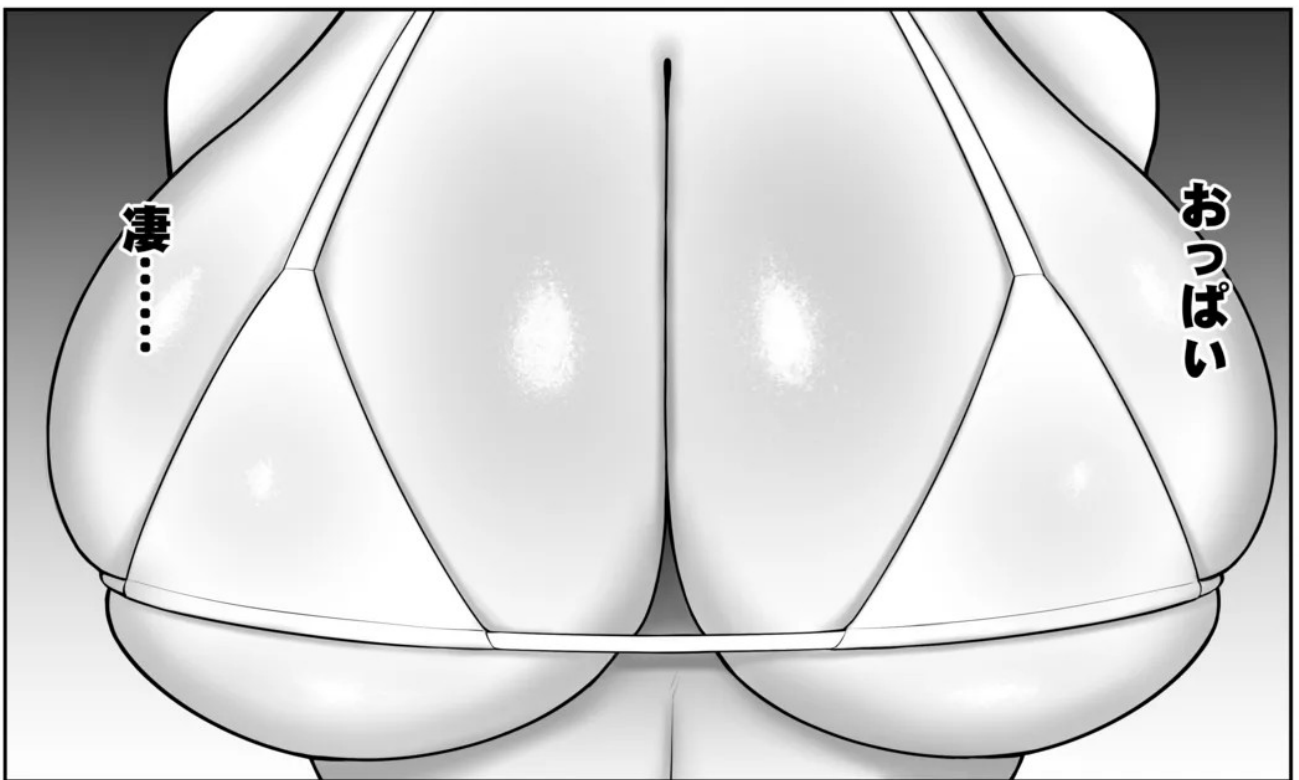
お流し
いたします

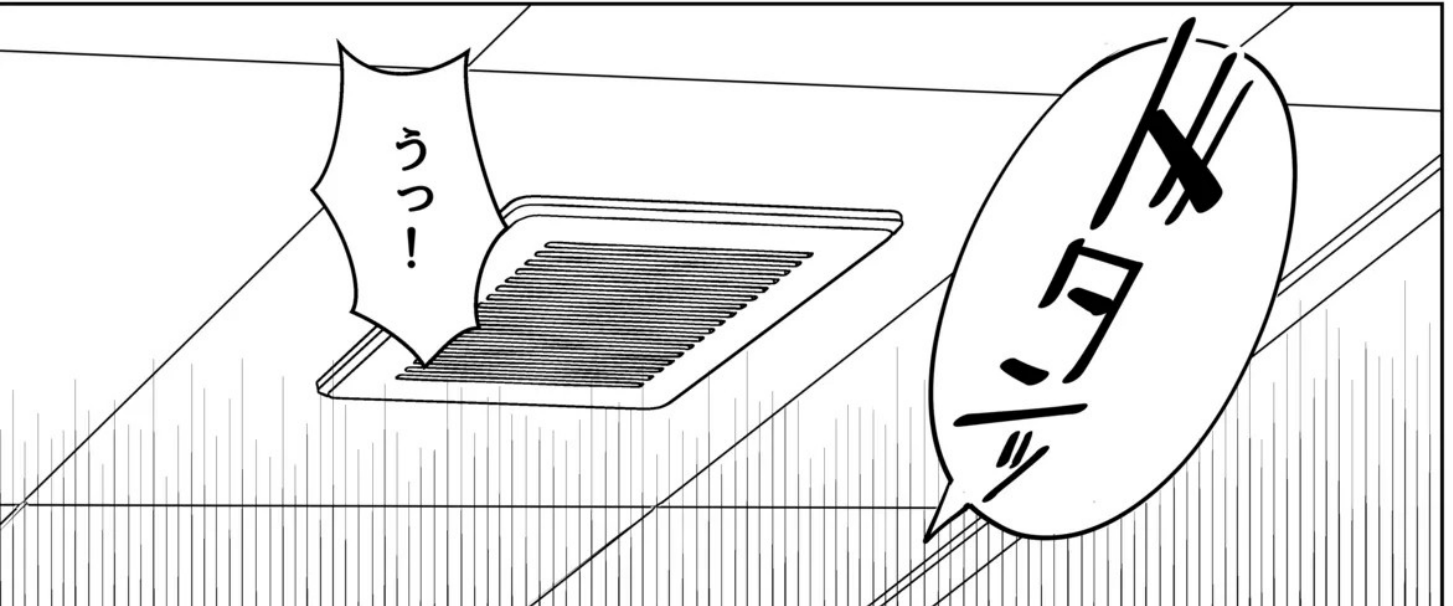
たぶん



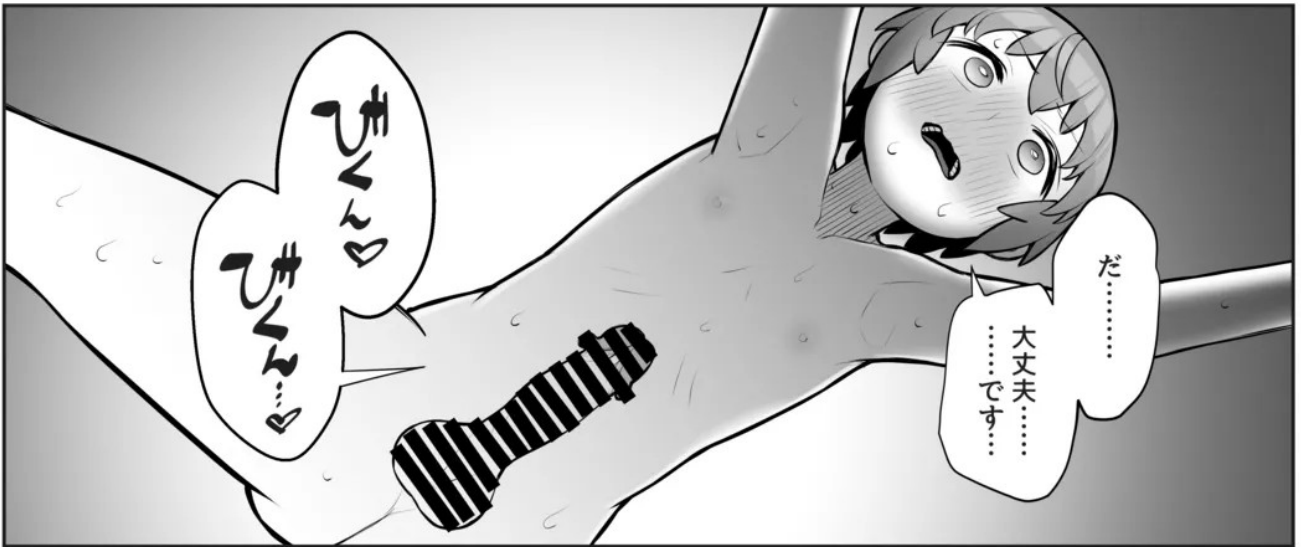
えっ、
なに?!

なぞっ……っ











ゴウッ

おっぱい……っ♡
やわらか……っ♡

いい♡
匂い♡

ゴウッ

きもち
いい♡

触れてるところ
全部むちむちで
すべすべで……

ゴウッ
ゴウッ

ドキドキして
心臓が破れ
ちやいそう……

ゴウッ

しあわせ……♡

ゴウッ

ゴウッ

痛いところは
ごさいませんか？

あ♡

ち……ちんちんが
ズキズキして

なんか
変……

くね

あ♡

くね

うっ♡

あき♡

あき♡

いい傾向です。
その感覚に
逆らわないように
してください。

あ♡

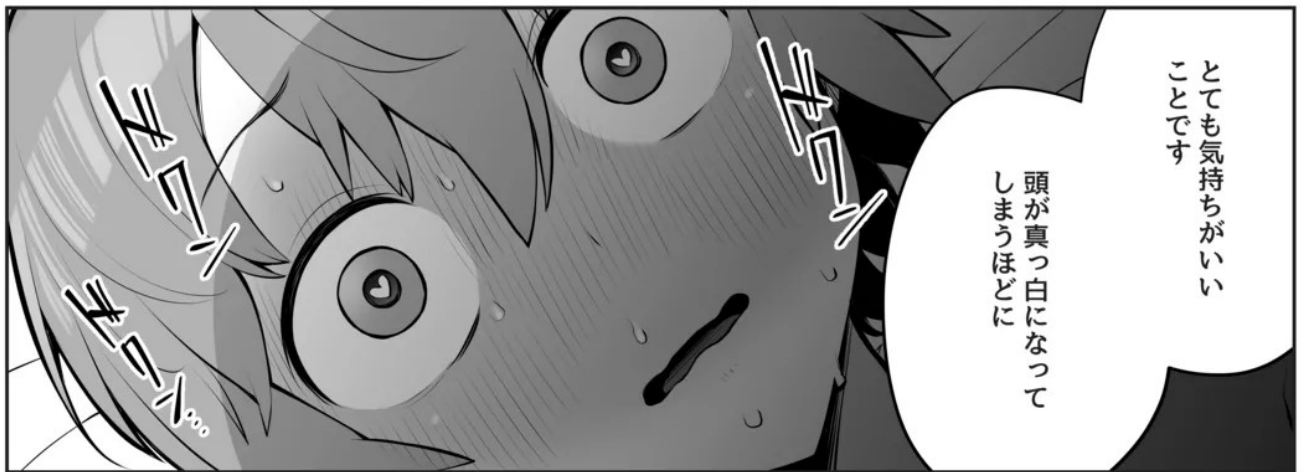




坊ちゃんには
今から

精通して
いただきます。

え……？



とても気持ちがいい
ことです

頭が真っ白になって
しまうほどに

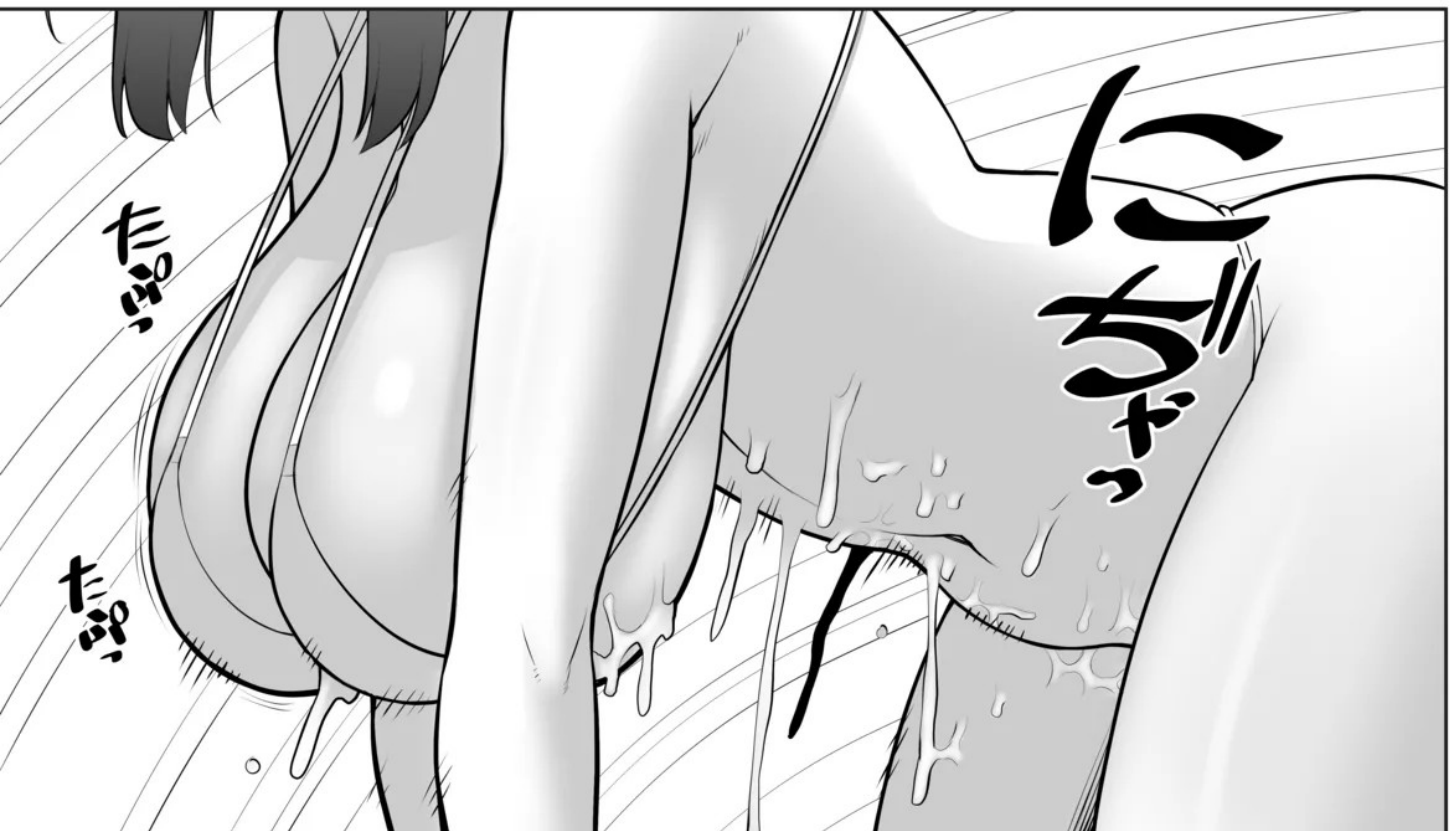


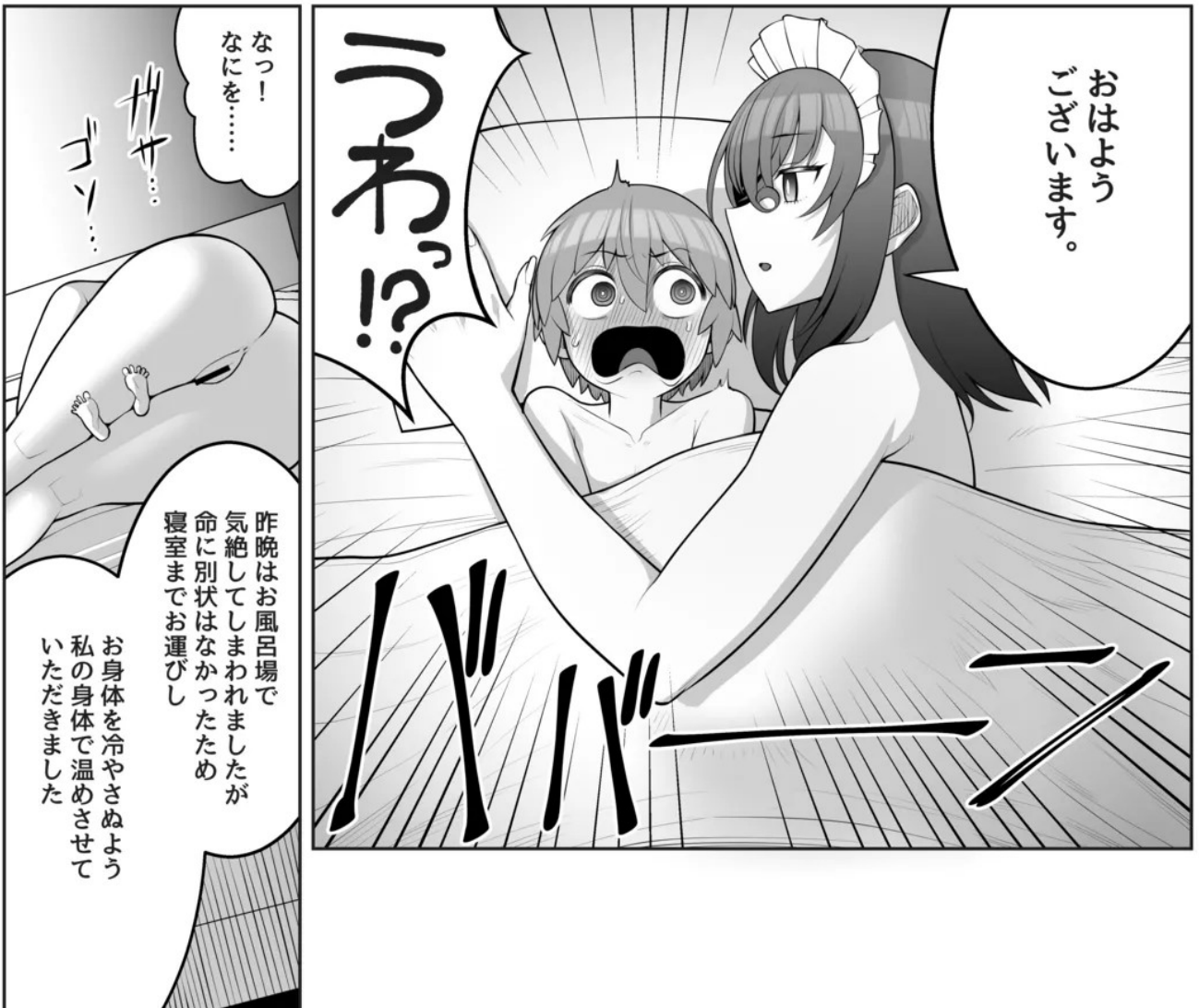
坊ちゃんの身体はいま
気持ちよくなるための
準備をしています

おちんちんが
大きく硬くなり

おしっここの穴の中に
潤滑油のようなものが
分泌されています









お眠りになった後も
勃起が収まりません
でしたので私の独断で
適切な刺激を続けさせて
いただきました



ご報告せねば
ならぬことも
ございます。





シッ
シッ
これから射精が
したくなったら
いつでも私に
お申し付けください。

9回目。

あまりにも
濃厚な刺激で
性に目覚めた
身体では

その欲望を
抑えきれなく
なるのは必然
だった



おっぱい……

おっぱい……
すき……



はっ。
おっぱい
です。

坊ちゃんを精通させた
おっぱいですよ

もみ

もみ

もみ

もみ

もみ

もみ

あ♡

あ♡

もみ

あはははは

すごい勢いですね。
格好いいお射精です。

でも私以外の人の前では
その顔は見せない方が
いいかもしれませんね。

すっぴんお♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

パイズリなんて
教えてもないのに

人間の本能は
凄いですね

それではここからは
たつぷりと乳圧を
かけた

「本物」のパイズリを
坊ちゃんに味わって
いただきます。

!?

ず





むぎゅっ

おれっ♡



だがそれ故に
頭の中から
消えない疑念が
あった

何故この人は
こんなに自分に
尽くしてくれるの
だろう……？

まるで天国のような
幸福感で満たされる
日々



はぁっ♡♡♡

あまのこ



すず……
すず……



ねえ



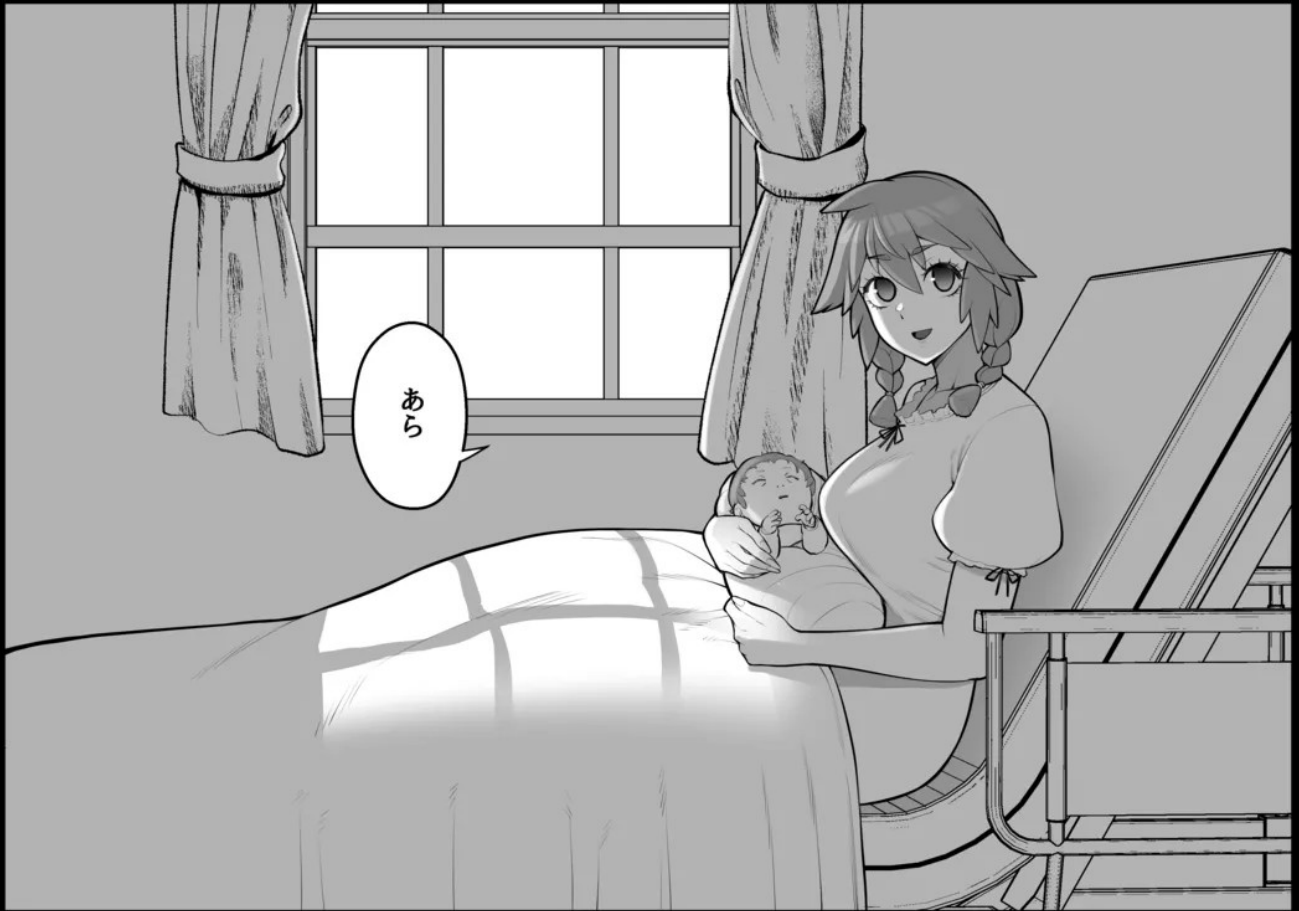
僕のお世話を
メイドになつて
くれたの？

マキナさんは
どうして



坊ちゃん

私は



あら



また
随分可愛い子を
連れてきたのね

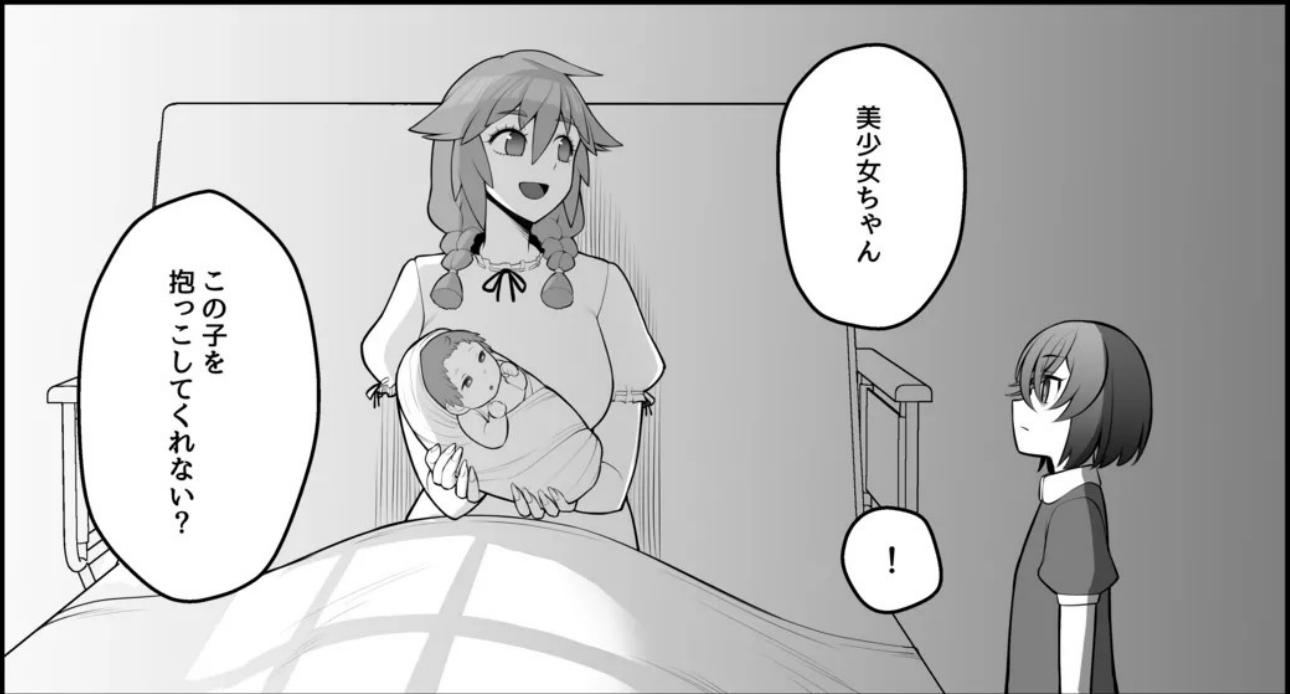




あなた……

ち……
違う！

詳しい事情は
聞いていなかったんだ！



美少女ちゃん

この子を
抱っこしてくれない？

！



ホラ！

この子も
お姉ちゃんと
遊びたいって！

あだ！

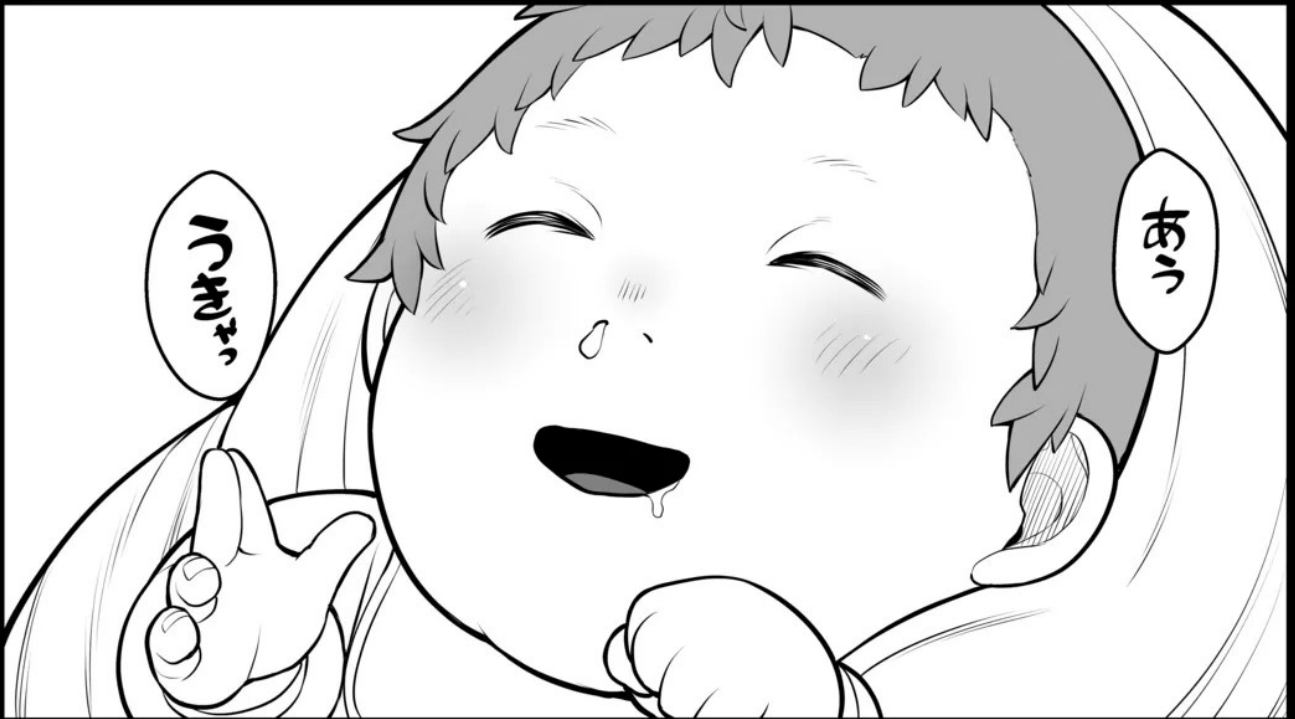
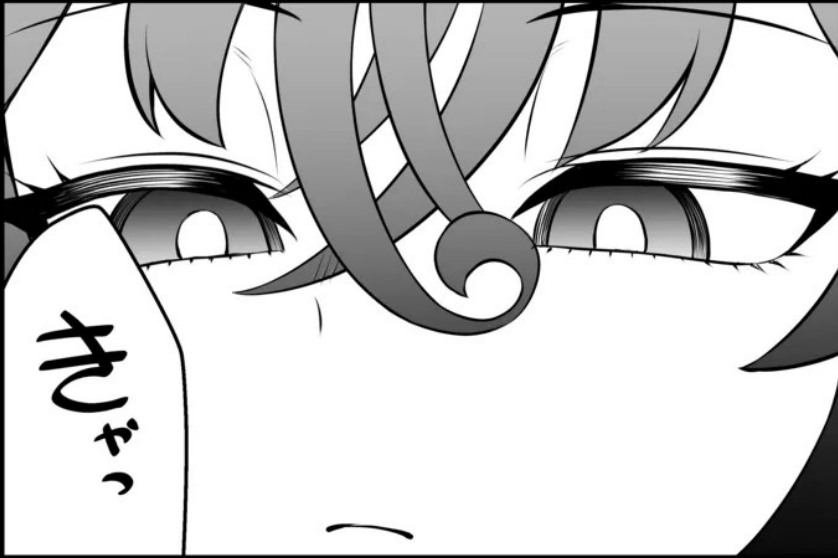


え……
なんで……

それに……
やったことないから
わからない……

いいから
いいから！







自分が誰かを
幸せにできた
気がした

私はその日
生まれて初めて



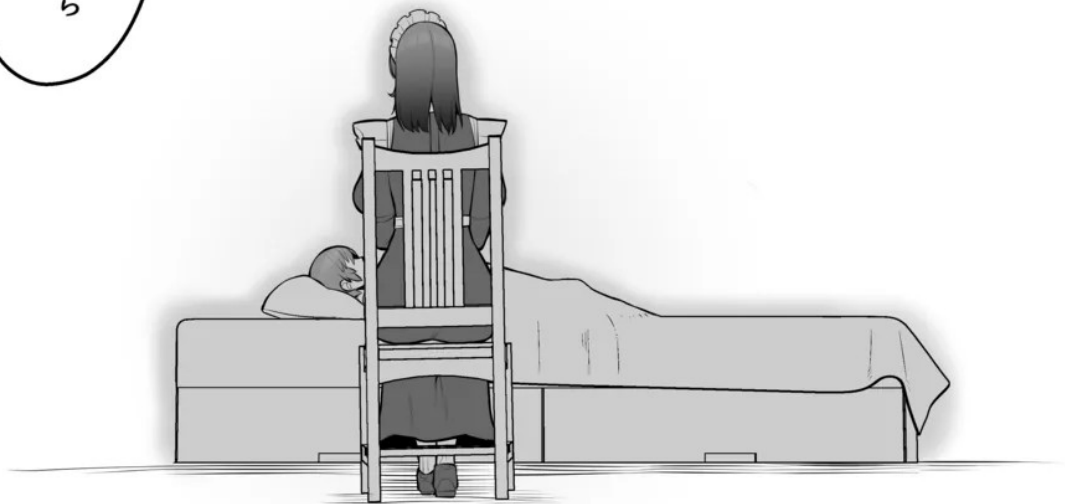
きつと
誰が笑いかけて
くれても私は
救われていたのだろう

だけどあの日
笑顔を向けてくれたのは
あなただから

だから――

寝てる坊ちゃんにすら
言えないや

だめだ……



無表情で何考えてるかわからないメイド

発行日：2026年2月12日

発行者：EOまさか

連絡先：oe_chambraybat_2tongue@http://yahoo.co.jp

18歳未満の購入・閲覧を固く禁じます。
この作品はフィクションです。

